

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>		訓練スペースとフリースペースが分かれていても十分なスペースがある
	2	職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>		一人の職員が常に3人以上の複数を担当することはないように配置されている
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	<input type="radio"/>		車いすを必要とする利用者がいないため、バリアフリーにはなっていません
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	<input type="radio"/>		利用者の降所後、毎日殺菌消毒剤を使い、掃除している。タオルなど使用したものは毎日洗濯している
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>		改善点が見つかった時は、一人ひとりに意見を求め、話し合いをおこないを実行している
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>		評価の内容を話し合い対策を考えたり、意見箱要望にも常に答えられるに取り組んでいる
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>		ホームページやおたより等で、お知らせする場を設けている。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		<input type="radio"/>	第三者による外部評価は行っていないが、事業所以外の方に意見を求めたり、相談はしている
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>		事業所内研修を行っている。外部の研修にも参加するようにしている
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	<input type="radio"/>		日々のフィードバックをおこないながら、保護者の意向や困りごと、話をする機械を設けて作成にいかしている
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	<input type="radio"/>		医療機関で発達検査を受けたものを提出してもらっている
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	<input type="radio"/>		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	<input type="radio"/>		スタッフひとりひとりが支援に目を通して
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>		基本となる案を計画した後、相談し確定している
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<input type="radio"/>		季節の行事や製作を取り入れながら、体験と経験を積み重ねられるように考えている
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	<input type="radio"/>			

	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		はじまる前に一日流れや活動の内容、支援の内容を確認している
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		利用者の降所後、一日の振り返りの話し合いを行ってる
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		個別記録をとっている
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		個別ファイルの支援期間を確認しながら見直している
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○		医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子どもを支援していない
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○		同上
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		相談事業所の担当者の方とともに幼稚園からの情報提供内容を共有し理解をはかっている
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		移行支援を必要とする利用児が現在いない
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○		障害のない子どもと関わることができるような活動を計画している(公園で一緒に遊ぶ・図書館で一緒に過ごす)
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		送迎時直接顔を見て花井を伝えることにしている
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		面談し助言することを主としてきた。ペアレントトレーニング等の支援プログラムも今後検討していく
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		個別支援計画の同意をもらう時は面談を行い、内容の説明を必ずしている

保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○	必要な助言を支援できるように研修を行っている
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○	R5年度より保護者交流会の場を設ける計画をたて年間行事を決めて保護者の元へ配布した
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○	意見箱を設置して、意見を活かせるよう心がけている。又申し入れがあった場合は日時の調整をすぐにおこない対応するように努めている
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○	毎月の行事予定や、おたより(お知らせ・活動報告・おねがい)を作成し配布している
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○	かぎのかかる場所で保管している
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○	リズムに記入すると同時に個々にフィードバック時に時間をつくり説明し話をしている
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○	R4年度中に地域の方を招待する行事の計画はなかったので今後考えていきたい
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○	避難まにゅあるや感染症マニュアルはしおりにとじて事前に保護者に渡してあり発生を想定した訓練は職員間で話し合い、実施している
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○	毎月、決まった日に訓練している
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○	職員は個人ファイルに目を通して状況が確認できるような環境をつくっている
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○	医師の指示書が出ている食物アレルギーの利用児は現在いない
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○	ヒヤリハット報告書を活用しファイルに閉じて全スタッフで共有している
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○	毎月、職員一人ひとりが虐待防止チェックシートで自分の行いを振り返りをしている
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○	身体拘束を必要とする利用児がいないため、支援計画の記載はありません

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。